

## 報告

## 臓器提供可能医療機関の院内コーディネーター状況調査報告

高橋絹代<sup>1,5</sup>, 小野 元<sup>2,5</sup>, 古川博之<sup>3,5</sup>, 江川裕人<sup>4,5</sup><sup>1</sup>富山県移植推進財団, <sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学東横病院 脳神経外科, <sup>3</sup>旭川医科大学 肝胆膵・移植外科分野, <sup>4</sup>東京女子医科大学 消化器外科学, <sup>5</sup>日本移植学会

## Survey of the In-House Transplant Coordinator in Japan

<sup>1</sup>*Toyama Organ Transplant Foundation,*<sup>2</sup>*St. Marianna University of Medicine Toyoko Hospital,*<sup>3</sup>*Asahikawa Medical University,*<sup>4</sup>*Tokyo Women's Medical University,*<sup>5</sup>*The Japan Society for Transplantation*Kinuyo TAKAHASHI<sup>1,5</sup>, Hajime ONO<sup>2,5</sup>, Hiroyuki FURUKAWA<sup>3,5</sup>, Hiroto EGAWA<sup>4,5</sup>

## 【Summary】

**【Objective】** This study is an investigation of the In-House Transplant Coordinator (IHCO) position in Japanese hospitals.**【Methods】** In the spring of 2017, prefectural transplant coordinators were given a seven-item survey that focused on the following areas: number of IHCOs, variety of medical roles, license requirements, presence of an IHCO Committee, availability of training opportunities, and other topics of local interest.**【Results】** Surveys were obtained from 45 out of 47 Coordinators (95.7%). In 866 total hospitals, there were 2,690 IHCOs. From this number, 59.9% were nurses, 20.5% were doctors, and 16.9% came from other positions. Eighty-eight-point-six percent of the IHCOs were commissioned by either the prefectural government or a foundation. At most, specialized IHCO training was conducted twice per year in each prefecture.**【Conclusion】** In comparison with a similar survey conducted in 2008, the number of IHCO positions has increased. IHCOs play an important role in improving hospital administration, educating staff about organ procurement, and caring for donor candidates and their families. On the other hand, the IHCO role is an extra duty, not a primary job. If there are donor candidates to deal with, the position can become quite burdensome. These results suggest that improvements in education and qualification for the IHCO role are warranted. In addition, a system to better evaluate IHCO activities is needed to improve coverage by medical insurance.**Keywords:** In-House Transplant Coordinator, authorization system, improvement of working conditions, medical service fees

## I. はじめに

現在、臓器提供が可能な施設において、脳死下臓器提供もしくは心停止下臓器提供のために提供意思のある患者・家族や現場を支援する役割を持つ、院内ドナーコーディネーターの設置は1996年静岡県腎移植協議会から始まり全国に広がった<sup>1)</sup>。そして、設置状況についての全国調査は2008年に日本臓器移植ネッ

トワークによって行われているが<sup>2)</sup>、日本移植学会コーディネーター委員会は2017年4月時点での院内ドナーコーディネーターの設置状況と活動等について調査したのでその結果を報告する。

## II. 方法

期間は2017年1月24日からおおむね3か月をかけて調査および回収を行った。対象は都道府県コーディ

図1 院内移植コーディネーター設置に関する項目と調査票

1. 貴院が属する都道府県をお示してください。 答え. _____
2. 貴院に院内コーディネーターは設置されていますか？（はい、または いいえ） 答え. _____ もし配置されているならば、院内コーディネーターの人数を教えてください。 答え. _____人 そして、設置されている場合の院内コーディネーターの職種を教えてください。（複数回答可） 答え. _____
3. 院内コーディネーター委嘱状を受けていますでしょうか？（はい、または いいえ） 答え. _____ 委嘱状を受けている場合、どちらからの発行でしょうか？（知事・財団等・その他など） 答え. _____
4. 院内コーディネーター設置の働きかけはどこからであったかを教えてください。 （都道府県財団・都道府県行政・病院での設置・その他） 答え. _____
5. 院内コーディネーターとの定期的な学習会や協議会等の開催はされていますでしょうか？ （はい、または いいえ） 答え. _____ またその回数を教えてください。 答え. _____回
6. 院内コーディネーターへ学会やセミナーの案内実施の有無 （はい、または いいえ） 答え. _____
7. 院内コーディネーターの課題や将来へ期待することを教えてください（自由記載） 答え. _____ _____

ネーター（以下、都道府県 Co）とし、各都道府県の院内ドナーコーディネーター（以下、院内 Co）の設置状況を調査した。質問項目は7項目（図1）とし、都道府県 Co が対応できない場合はその行政機関に協力を依頼した。依頼文と調査紙をメールもしくは郵送にて送付しメールにて回収した。倫理的配慮として個別情報の公開を行わないことを依頼文に付記した。

### III. 結 果

47 都道府県のうち 45 都道府県（回収率 95.7%）より回答を得た。回答を得た 45 都道府県のうち 44 道府県は行政や財団が主体となり院内 Co 制度を設けており、886 病院 2,690 人の院内 Co が設置されていた（図2）。また、病院独自で院内 Co を設置している都道府県は 1 か所であった。院内 Co を兼務する職種は看護師が最も多く 1,612 人（59.9%）、次いで医師 551（20.5%）、その他臨床検査技師、メディカルソーシャルワーカー（以下、MSW）、事務、臨床工学技士ら 527 人（19.6%）の多職種で構成されていた（図3）。院内 Co 設置に関しては都道府県行政および財団が依頼した地域は 88.6%であった（図4）。院内 Co への委嘱状の発行は都道府県知事によるものが 71.1%、財団等からの発行は 8.9%、その他 6.7%であり、また委嘱状が発行されていない地域は 13.3%であった（図5）。研修会等の実施回数は年間 2 回が最も多く 19 地域、3

回は 11 地域、4 回は 4 地域、1 回は 3 地域、5 回、6 回はそれぞれ 2 地域、7 回、12 回、14 回はそれぞれ 1 地域であった（図6）。

自由記載において、院内 Co の活動に関するコメントが 31 件あった（表1）。類型化すると最も多いものは、院内活動における院内 Co の主体性に関するものであった（10 件）。内訳はドナーディテクション、家族と早期からの関わり、院内研修会やシミュレーションなどの企画への参加、終末期の一環としてのクオリティの高いマネージメント等において院内 Co が主体的に関わる必要あり等が記載されており、これらにより院内 Co の存在や活動が認知されるのに役立つというものであった。次に、院内 Co 活動時間確保と過重労働予防対策の必要性、診療報酬による評価の必要性が 4 件ずつ、院内 Co 資格と認定制度の必要性、院内 Co のキャリアアップシステムと研修制度の確立、院内 Co が活動しやすい環境づくりが 3 件ずつ、院内 Co 活動の多様性への理解と評価の必要性、院内 Co と都道府県 Co など院外との連携の必要性が 2 件ずつ寄せられた。

### IV. 考 察

1996 年より 20 年間で日本全体に院内 Co の設置は進んでおり 2008 年の日本臓器移植ネットワークの調査<sup>2)</sup>における 38 道府県 652 病院 1,497 名の設置から

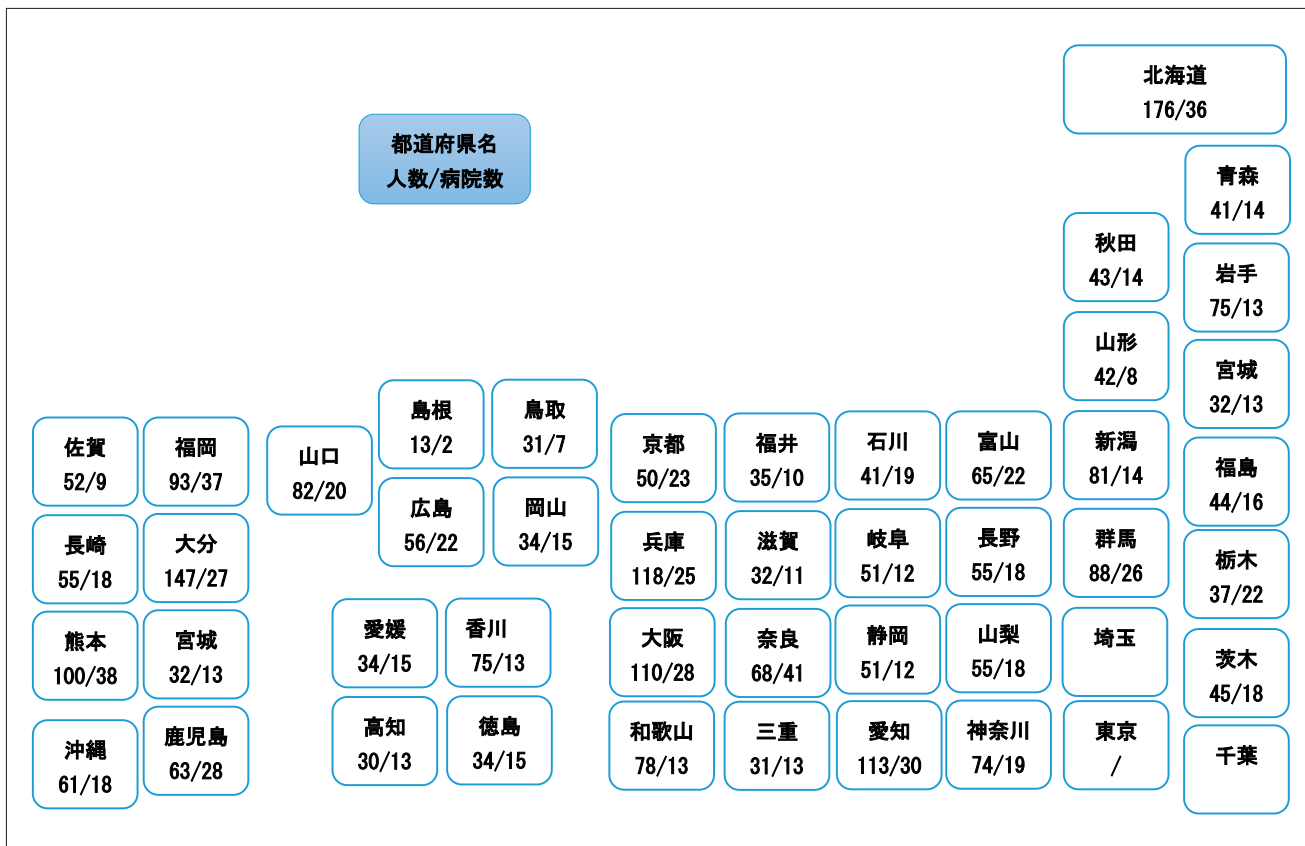


図2 院内コーディネーターの設置状況

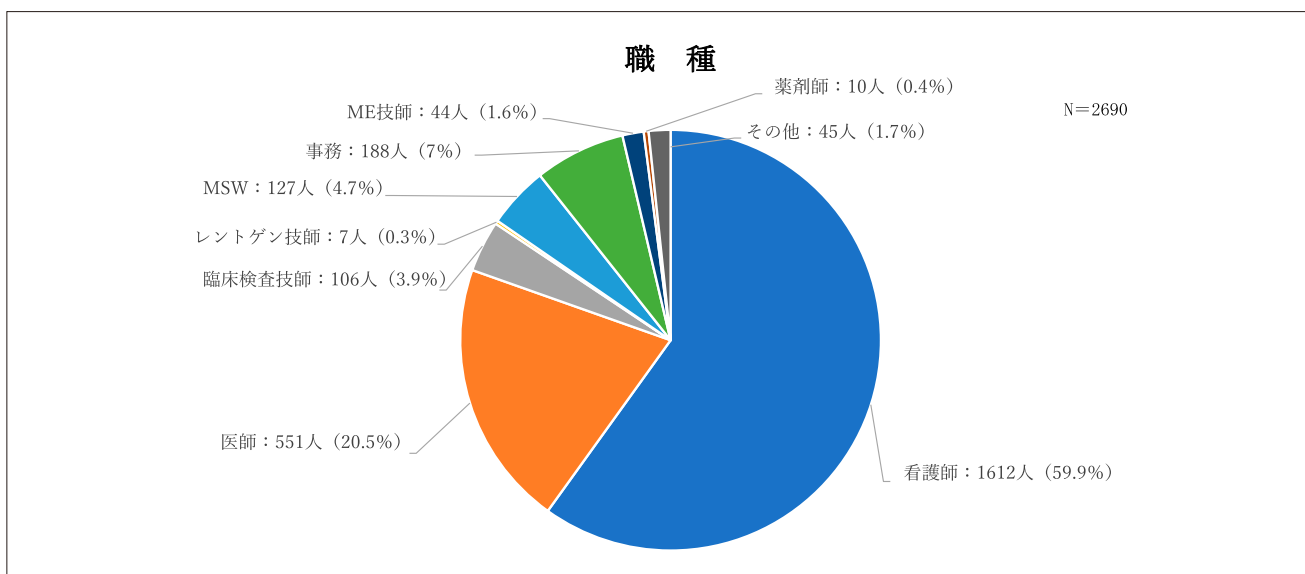


図3 院内コーディネーターの職種

2017年は44道府県866病院2,690人と増加していた。その理由として、院内Co設置は各医療機関に院内体制を積極的に整える中心的な役割の期待の表れと思われた。

しかし、その設置数は「臓器提供に関する法律」の

運用に関する指針（ガイドライン）第4<sup>3)</sup>に記載されている5類型病院以外の心停止下提供のみ可能な病院も含まれており、医療機関の規模や担う役割によってポテンシャルドナー（臓器提供の可能性のある患者）の発生の可能性が異なり、院内Coの人数、委員会設

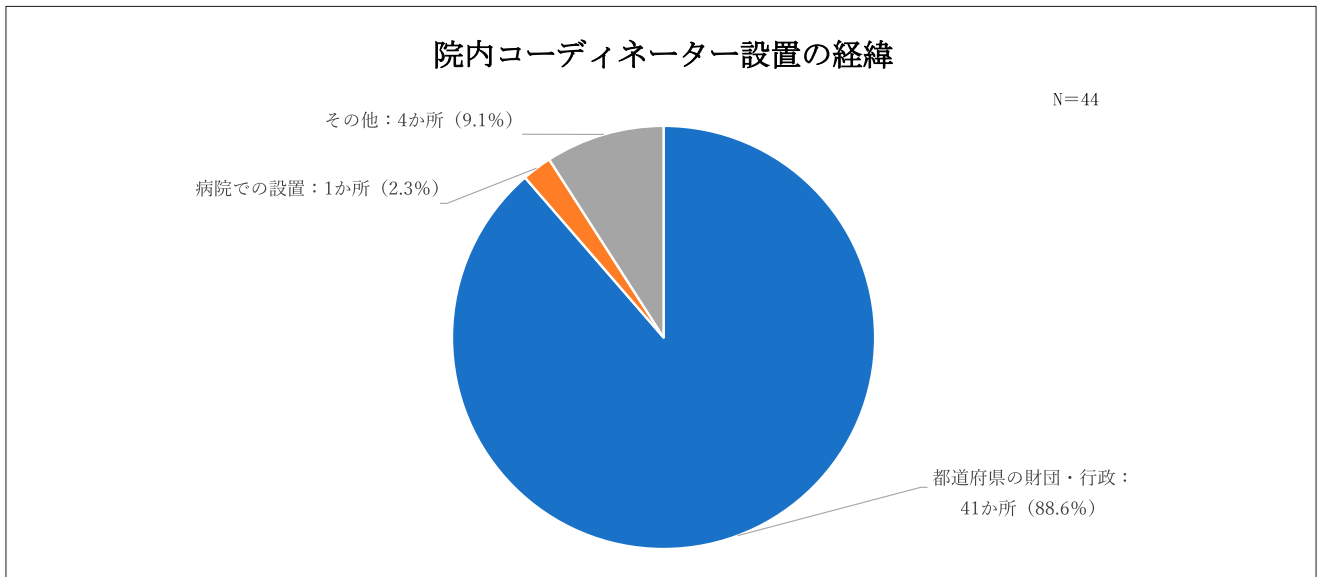


図4 院内コーディネーター設置の経緯

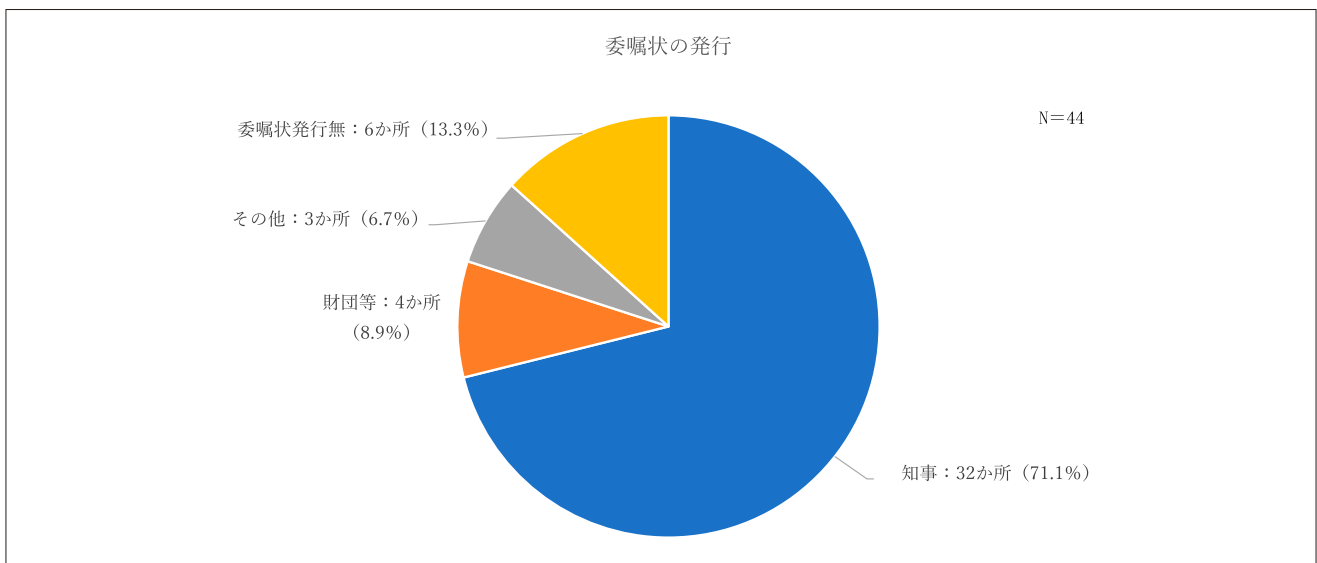


図5 委嘱状の発行

置の有無や院内の活動などに大きな差が存在すると推察され、今後の課題である。

院内 Co を担う職種は、終末期対応や家族ケアが活動の中心となるため、医師と看護師が約 8 割を占めた。終末期医療のひとつとしての臓器提供において、患者に近い医師や看護師が院内 Co を担うことは理にかなっていると考えられた。一方で、医師や看護師が日常業務と兼務する形で院内 Co 活動を行っている状況を院内外に周知し、その業務への理解を高める手段としても、行政からの委嘱状などの後ろ盾を得ることは重要であると思われた。

さらに、臓器提供事例では限られた時間で急性期終

末期医療における家族ケア、脳死判定支援、院外関係機関との連絡などを行わなければならない。それらの業務を円滑に進めるためには日頃からの学習や訓練が重要である。したがって、シミュレーションや座学を含めた各都道府県で実施される院内 Co への勉強会や研修会は、情報共有や病院啓発の方法としても重要であり、特性を生かしながら継続されることが期待される。

また院内活動に対する意見では、院内 Co の実績評価や職場における認知についての要望があった。つまり、実際行われている院内 Co 業務は臓器提供支援以外に、研修会の開催やシミュレーション実施、マニユ

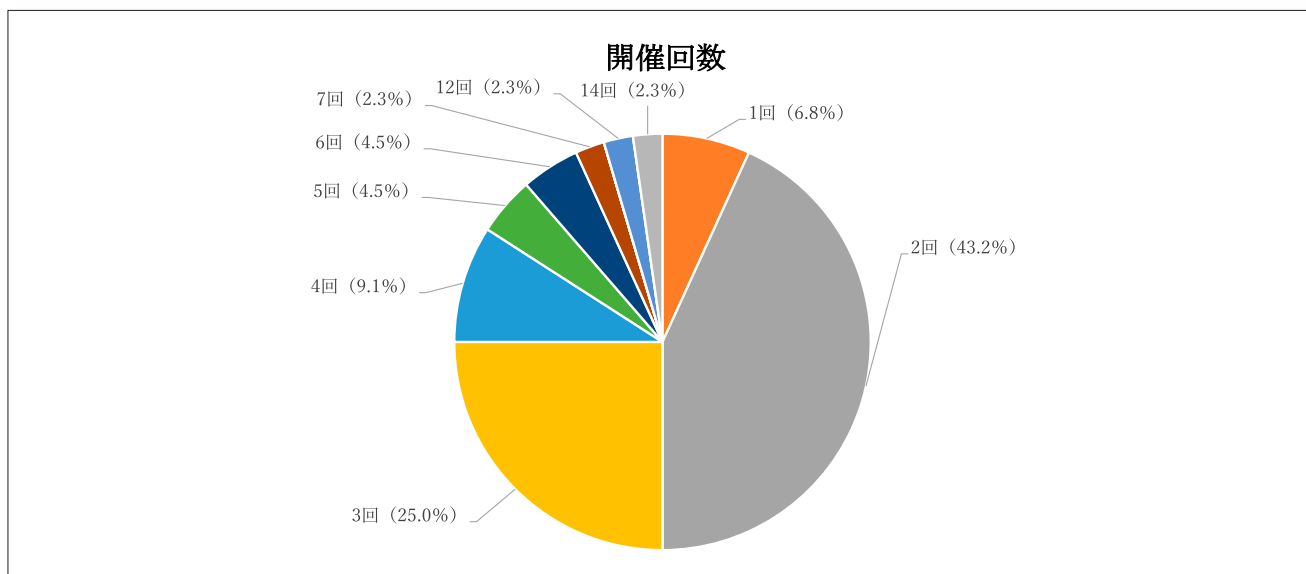


図6 院内コーディネーター協議会等の年間開催回数

表1 課題と将来への期待に関する自由記載のまとめ

1. 院内 Co 活動における Co の主体性が不十分 (10 件)
2. 院内 Co 活動時間確保と過重労働予防対策の必要性 (4 件)
3. 診療報酬による評価の必要性 (4 件)
4. 院内 Co 資格と認定制度の必要性 (3 件)
5. 院内 Co のキャリアアップシステムと研修制度の確立 (3 件)
6. 院内 Co が活動しやすい環境づくり (3 件)
7. 院内 Co 活動の多様性への理解と評価の必要性 (2 件)
8. 院内 Co と院外都道府県 Co との連携の必要性 (2 件)

アル改訂等の提供事例対応以外の日常業務が含まれるため、提供実績だけでなく日常活動も含めた評価が求められる。また、兼業のためポテンシャルドナーの情報により、通常業務に院内 Co 業務が加わることで過重労働が避けられない状況があり、対策が必要である。

診療報酬の点から見ると、移植患者に対応するレシピエントコーディネーター認定制度が日本移植学会により開始され、平成 30 年度診療報酬改定で資格として保険点数<sup>4,5)</sup>に結びついている。院内 Co においても、資格化や認定制度、診療報酬等に反映される仕組みが求められる。

内閣府の移植医療に関する世論調査<sup>6,7)</sup>によると日本の国民の提供に対する意識は欧米に比較して低いわけではない。つまり急性期医療現場において終末期患者やその家族の意思や希望を確実に確認することができれば臓器提供の増加が期待できる。院内 Co の使命は急性期医療現場における臓器提供を希望する患者や家族への支援と、その準備のための院内体制の整備で

ある。院内 Co が働きやすい院内体制整備<sup>8,9)</sup>や院内 Co の資格化、その活動の評価や周知が院内 Co の活動を高め、臓器提供数の増加にもつながると考えられる。一方、院内 Co が過重労働にならないように労働環境の改善を行うとともに、患者や家族の最善利益に貢献し満足度を上げるために、終末期医療、家族ケア、コミュニケーションなど院内 Co としての質を高める教育が重要である。

これまで地域を担当する各都道府県 Co が中心となり教育を担ってきたが、教育のためのカリキュラム、研修の機会や方法は統一されていない。都道府県 Co の連携、移植関連学会や救急・脳神経外科関連学会、日本臓器移植ネットワーク、日本移植コーディネーター協議会などの関係団体と協力し、充実した研修内容となるよう工夫が必要である<sup>10)</sup>。

本研究は院内 Co の実態と課題を明らかにしたが、調査対象は院内 Co の実態を把握できる都道府県 Co であった。したがって実態や問題点を俯瞰的に把握するには有効であったと考えるが、院内 Co の生の声を



聞くことはできていない。今後、全国の院内 Co を対象にした調査が必要であり、その結果をもとに意見を集約する必要性が出てくるであろう。

## V 結 語

今回、全国の院内 Co の調査では設置病院や院内 Co の数は増加しており、院内 Co の約 8 割は医師と看護師が担っていた。院内 Co の多くが本来の業務を持ち兼務であるため、ドナー候補出現時には通常業務に加え増加する、院内 Co 業務の負担に対する対策が必要である。さらに院内 Co の活動に対する評価システムが未整備であり、院内での認知度が低いことが課題であった。将来に向けて充実した教育の提供と共に、レシピエントコーディネーターと同様に資格化や、業務が診療報酬に反映され評価される仕組みが必要である。

### 謝辞

調査に協力していただきました、全国の都道府県コーディネーターの皆様に感謝申し上げます。

### 利益相反自己申告

申告すべきものなし。

## 文 献

- 1) 院内移植コーディネーターとは。静岡県腎臓バンクホームページ。 <http://shizu-jinbank.or.jp/about/innai.html>
- 2) 社団法人日本臓器移植ネットワーク。院内コーディネーターテキスト 2009; 3-5.
- 3) 臓器提供に関する法律の運用に関する指針(ガイドライン)。日本臓器移植ネットワークホームページ。 <https://www.jotnw.or.jp/files/page/medical/manual/doCOrgantransplant-law.pdf>
- 4) 平成 30 年度診療報酬改定の概要 医科 II。厚生労働省ホームページ。 <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000197984.pdf>
- 5) 移植後患者指導管理料。厚生労働省ホームページ。 <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000041272.pdf>
- 6) 臓器移植に関する世論調査 2002。内閣府ホームページ。 [https://survey.gov-online.go.jp/h14/h14-zouki/3\\_chosahyo.html](https://survey.gov-online.go.jp/h14/h14-zouki/3_chosahyo.html)
- 7) 臓器移植に関する世論調査 2017。内閣府ホームページ。 <https://survey.gov-online.go.jp/h29/h29-ishoku/gairyaku.pdf>
- 8) 高橋絹代。院内コーディネーターの今後の在り方。移植 2019; 54(Suppl): 159.
- 9) 加藤櫻子, 瀨瀬一枝, 剣持 敬, 明石優美, 朝居朋子。ドナーコーディネーターの一本化と資格認定制度。移植 2019; 54(Suppl): 161.
- 10) 高橋絹代。移植医療の働き方改革を目指して～都道府県コーディネーターの働き方改革 提言～。移植 2019; 54(Suppl): 155.

- 1) 院内移植コーディネーターとは。静岡県腎臓バンクホームページ。 <http://shizu-jinbank.or.jp/about/>